

別紙 参考資料

絵本『魔女からの手紙』

物語は、ヤヤという女の子のうちに届いた不思議な手紙から始まります。あて先は“ふかもりカスレ”。会ったこともない、ひいおばあちゃんの名前です。「カスレおばあちゃんには不思議なともだちがいっぱいいたのよ」、そうおばあちゃんから聞いたことがあったヤヤは、その手紙をもって納戸に行き、ひいおばあちゃんの思い出がしまっているという、大きなバッグを開きます。すると、古い手紙がたくさん出てきました。それは、魔女だったカスレおばあちゃんに送られた20人の魔女からの手紙。

この絵本は、角野栄子氏のつくるストーリーを軸に、それぞれ著名な画家、デザイナーたちが、「カスレおばあちゃん」に宛てた手紙を創作しています。荒井良二、ディック・ブルーナ、いとうひろし、大島妙子、鴨沢祐仁、和田誠、市川里美、五味太郎、黒井健、児島なおみ、スズキコージ、橋本淳子、国井節、長新太、高林麻里、宇野亜喜良、杉浦範茂、スーザン・パーレイ、太田大八という一線で活躍する作家たちが競演する、贅沢な一作です。

……ヤヤは手紙を読み終え、ひいおばあちゃんのことをわかっていると、だんだん胸が高鳴って来るのでした。カスレおばあちゃんとは同じじゃないかもしれない。けれども、何かがありそうな不思議な予感……。心温まる優しい絵本です。



『魔女からの手紙』

角野栄子作 / ポプラ社刊

初版発行 : 1997年11月

サイズ : 19cm x 26.5cm

ページ数 : 48ページ

グレード : 小学校高学年～

ジャンル : 絵本

定価 : 1,680円(本体:1,600円)

通信総合博物館(ていぱーく) 概要

住所 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1

アクセス : 地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ

都営三田線

東京メトロ半蔵門線

東京メトロ東西線

東京メトロ千代田線

東京メトロ丸ノ内線)

JR「東京駅」下車 丸の内北口より神田方面へ

徒歩 10分

入館料 : 個人大人 110円 / 小・中・高校生 50円

団体(20名以上)大人 50円

小・中・高校生 25円

(小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料)

開館時間 : 9:00～16:30(入場は16:00まで)

休館日 : 月曜日(祝日・振替休日の時は翌火曜日が休館)



ていぱーくは、明治35(1902)年、万国郵便連合(UPU)加盟25周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100年以上の歴史を誇る博物館です。

当館は日本で唯一の「情報通信関係の総合博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信・放送の各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。